

少年武者烈丸

データ

データ	
読み	しょうねんむしゅれつまる
所属	頑駄無軍団烈火隊隊長
デザイン機体	R X - 7 8 - 5 ガンダム 5 号機 (M - M S V)
作品	S D ガンダムフォース絵巻 武者烈伝武化舞可編

内容

かつて世界を魔の手から守った頑駄無軍団が誇る光の七人衆、烈火武者頑駄無の一人息子。光の七人衆は前大戦で武化舞可使用時の巨大な爆発に巻き込まれ、生死不明になったのち逆賊とされており、その関係者も迫害を受けていた為に烈丸たちも都を追われる事となった。その後、自無助の父が村長を治める山村に落ち延び、烈丸も母の貴紫利亜の厳しい教育によりたくましく育っていたが（一式版では母は貴紫利亜だが公式設定では光凰が母親である。）七人衆の生死不明から数年後、邪悪武者の一人で黒猪部隊隊長魏呂須に居場所を突き止められ魏呂須と戦うハメになるが戦いの最中に出現した武化舞可の號刀を得て魏呂須撃退に成功する。その後、世を正す為に自無助と共に旅立ち、各地で邪悪武者と交戦しながら七人衆の息子達と出会い、烈丸組（後に烈火隊に改名）を結成。悪怒羅巢邸阿突入時に敵首領の**カピターン**卿を討ちとるがその後、刃斬武將軍により烈火隊メンバーが誘拐された為に烈丸**握躑舞**として単身、黒須爆穩島に乗り込む。

使用武器 & 支援メカ

炎の小刀【ほむらのしょうとう】

紅蓮の炎で鍛えられた小刀で慢画では號刀を鞘から抜く事も出来ない烈丸と嵐丸の姿にあきれた號刀が出した小刀。

武化舞可の號刀【ぶかぶかのごうとう】

光の七人衆と共に戦った大將軍が纏っていたとてつもない力を秘めた伝説の鎧の一つで號刀が認めた者しか抜く事が出来ないと言う烈火武者頑駄無が烈丸に遺した武化舞可の一つ。当初は真の力を引き出せるのは烈火武者頑駄無だけだったが後に烈丸も抜けるようになった。元々は雷凰頑駄無大將軍の「光の鎧」だったが魔界大戦後に将頑駄無殺駆頭が七つに分割、大將軍の意思と共に光の七人衆に託した。

大烈刃剣【だいれつじんけん】

武化舞可の號刀に代わる少年武者烈丸の新たな武器。
烈火大綱に烈丸が融合した時のメイン武器でもある。

木棒【バット】

やきゅうで活躍して父の汚名を晴らそうとしていた烈丸が素振りに使用した特大木棒、魏呂須の攻撃により折られた。（烈丸の言動から見るに一本のみのワンオフらしい）

筋肉強化ギプス【きんにくきょうかぎぷす】

烈丸が貴紫利亜の言い付けで朝ご飯の時にも装着していた木棒を鋭く振りぬく為の筋肉強化用ギプス、元ネタはもちろん巨人の星。

神紅の鎧【しんくのよろい】

魏呂須の言動に怒り、武者の血が目覚めた時に出現した烈丸の肩鎧。
なお、この際に鍬型も出現したが未熟な為に左右非対象。(右の方が長い)

使用忍術&必殺技

唐突奥義・鳳凰夢嵐【とうとつおうぎ・ホームラン】

突如現れた上に抜けない號刀に業を煮やした烈丸が使用した技、要はフルスイングの事だが魏呂須をこれでふっ飛ばした。

唐突奥義・鞘炎怒【とうとつおうぎ・サヤエンドー】

蝦流との戦いの最中、突如真の姿を現した號刀とロゲンカを始めた烈丸が使った技で號刀の頭を叩く事で放射される火炎攻撃、號刀によると隠された能力の一つらしい。

覚刀戯・激烈蹴刀【かくとうぎ・げきれつシュート】

炎の小刀を脚部の裏に装着し、敵目掛け突っ込む烈丸の必殺技、射威耽との戦いで使用した。

覚刀戯・號刀烈風太突刃【かくとうぎ・ゴウトウレップウダイトツパ】

「頑駄無の魂と共に戦い、親父との誓いを果たす」と言う烈丸に応えるように號刀の刀身が伸びて敵を攻撃する烈丸の必殺技。逆拔との戦いで繰り出した。

覚刀戯・濃攻斬り【かくとうぎ・のこぎり】

チェーンソー型に変形した「素体・零」で一気に敵を斬り裂く烈丸の必殺技。

覚刀戯・號刀烈空炎舞【かくとうぎ・ゴウトウレックウエンブ】

覇兜を装着した嵐丸の上に烈丸が乗り、號刀に炎を纏わせ一気に斬り付ける烈丸と嵐丸の合体攻撃。

変形&変幻

殻密着形態【からみつきモード】

號刀の鞘が烈丸の右腕に絡むように装着された形態で烈丸の新世代の力に號刀が応えて発動した號刀の新形態。

光の武者天照【ひかりのむしゃてんしょう】

悪怒羅巢邸阿内部でのカピターン戦で武化舞可が沈黙した為に窮地に陥った烈丸が交魂により烈火隊と融合した武化舞可を纏った姿で要は武化舞可フル装備の烈丸の事。更に覚醒を果たし螺触麗死悪ごとカピターン卿を倒した。(因みに覚醒版の姿は某ジェネシク風味)

烈丸握蹄舞【れつまるあくていぶ】

カピターン卿亡き後、刃斬武將軍により烈火隊メンバーが誘拐される事件が発生、烈火隊メンバー救出の為に単身、黒須爆穩島に乗り込んだ烈丸の忍(しのび)姿。付け焼刃ではあるが農丸の忍術と駄舞留精太の機械工学も学んでいる。

猛打将烈丸【もうだしょうれつまる】

黒須爆穩島での最終決戦時に闇邪神と戦うためにサイゾーと合体した烈丸の最終形態、唐突奥義 極・紅蓮刀修羅武によって見事闇邪神の身体を倒し、武化舞可を取り戻した。全身に野球ボール状のディティールが施されており、当初、巨人の星風味で始まった今作の象徴とも言える形態であり、「猛打将」とは野球用語の猛打賞を掛けたもの。

備考

武者烈伝主人公の少年武者、熱血漢だが本編とコミックワールドで少々（と言うか結構）性格が違う。

今作では今西画伯によるコミックワールドも復活しており古参ファンにも注目を浴びている。

参考資料

- BB戦士 265 少年武者烈丸説明書&コミックワールド
- BB戦士 267 烈火武者頑駄無説明書&コミックワールド
- 講談社刊 SDガンダムフォース絵巻 武者烈伝武化舞可編（全3巻）
- 講談社刊 コミックボンボン04年6月号～05年11月号